

まごころだより

2019. 12月号

ついこの前まで暑い日が続いていましたが、台風の襲来を期に秋が駆け足で過ぎ去り、あっという間に12月（師走）になりました。振り返れば今年もさまざまな出来事がありました。明るい出来事や、暗い事件、不安で心配になる状況など強く印象に残る事は人それぞれ違うでしょう。個人的には消費税率の増税です。格差に関わらず国民に等しく課せられる消費税は、それを厳しいと捉えるひと、仕方がないと捉えるひと。自分の生活に照らし合わせてとらえるのでしょうか、低所得者にとってはたとえ2パーセントの増税であろうと、限られた収入しか当てにならない人達にとっては、さきざきの生活に不安をいだくのは当然のことだと思います。



消費税の使い道の一部は社会保障の中の介護保険費に充てられるとありますが、前回の税率改変の時も介護保険費に充てられるとか言われていたのは記憶違いでしょうか。最近、政府は高齢者の負担割合を見直す方向であるとささやかれているようですが、年金で生計を立てている高齢者にとってはそれも等しく課せられることになるのか気に掛かることではないでしょうか。政府には国民にはっきりとした増税の意図と使い道をめしてもらいたいもので、国民に負担だけを先行させるのはいかがなものなのでしょうか。

高齢者の移動手段

戦後、高度成長をなしえてきた日本は当時の若い労働者によって支えられてきました。貧しかった人たちは政府が掲げた政策によって公共事業に携わることで収入を得て、安定した生活ができるようになってきました。経済が循環することでさまざま

な事業が生まれ雇用が進むことでみんなが安心して生活ができるようになりました。家族のために心血を注いできた若い人たちは結果として日本の成長に助力してきました。そして今は次世代にバトンを渡し穏やかな日々を送っていますが、町の様子が変わり用事を済ますには場所によってどうしても自動車が必要な事があります。特に地方においては交通手段が限られている地域もあり、通勤だけでなく通院に使ったり、買い物にでかけたりと何かにつけて自動車は大切な生活道具として使われています。しかし、そんな自動車も確かな操作と判断で交通ルールを守る事ができるわけで、一つでも間違えれば自分だけでなく関係のない人を巻き込んでしまう大事故につながってしまいます。まさか自分が操作を間違えることなんてあるわけがないと自信に似た考えを持っておられるに違いないと思いますが、その自信が一番こわいのではないのでしょうか。以前に誤操作をしたらどう感じるのか体験してみようと何も障害物がない広い場所で、バックをするつもりでドライブにギアを入れ後ろを見ながらアクセルを踏ん



でみました。意図的な操作ではありましたが、後ろ向きの姿勢の状態で前方向に動きだすと、分かってはいてもとても怖く感じました。運転には十分に気を付けたいものです。

チームワーク

出来事は暗いことばかりではありません。明るいニュースもたくさんありました。例えばスポーツですが、先日行われたラグビーのワールドカップではほぼ日本中の人達が興奮されたのではないのでしょうか。あまり見ませんしよく知らない競技でしたがあのチームワークの良さには驚かされました。選手たちは普段、別々のチームで敵味方に分かれて戦っていたにも関わらず、この時だけ一つのチームになって戦うわけですから気持ちがバラバラではゲームにならなかったと思います。選手はチームメイトが何を考えて動いているか、自分は次に何をすべきなのかを良く理解して行動をとっているのだと専門家は解説していました。その考えはスポーツに限らずどの世界にも共通することではないのでしょうか。私たち介護に携わっているものも一人だけでは対応できません。介助や話し相手をしている時に同僚が困っていたり、助けが必要になったりしたときはお互いに支え合わなければ利用者に不安を与える事になってしまいます。そうです私たちも一つのチームなのです。普段から情報を共有するために常にコミュニケーションをとっておかなければなりません。同僚が困っていると感じたら交代したり、それでも対応に困ったら更に交代して穏やかになる糸口を探っていく事でお互いに信頼できる関係を築いていく事になるのではないのでしょうか。

新しく令和になってさらに様々なうごきが各方面に現れるでしょうが「まごころ」としては。利用者の方達に満足していただけるように変わらぬ信念で進んでいきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いします。



12月行事の予定

4日 (水)
11日 (水)
14日 (土)
19日 (木)
23日 (月)

小物づくり
林夫妻の歌謡ショー
前畑さんの演奏で歌いましょう
惣菜・菓子づくり
食事会